

校長あいさつ

本校は、昭和22年5月、新学制公布により新制中学校として設立、東部小学校に併置、平成2年度に現在の地に移転し、令和6年度に開校77年目を迎える学校です。

校区は、北広島市東部地区に位置し、JR千歳線や幹線国道、道道が通り交通量が多く、芸術文化ホールなども集まるとともに、北海道ボールパークFビレッジが開業されたことにより、大きな変容を遂げようとしています。

東部中学校は、教育目標

夢をもち たくましく

心を磨き（心）

知性を高め（知）

身体を鍛え（体）

共に生きん（労）

のもと、変化の激しい社会を生き抜く力を身に付ける教育活動の充実を図り、多くの卒業生が各方面で大いに活躍しています。

また、北広島市では平成30年度より、全市で小中一貫教育が推進され、東部中学校区の15歳の姿を、

夢をかなえるため、学んだことをもとに、自分の言葉で堂々と語れる姿

とし、校区の小学校と連携した9年間の計画的な教育活動を目指しています。

これからの予測困難な時代を生き抜くには、 $1+1=2$ といった一つの正解を出すことが難しく、暗記した知識だけでは不十分であり、学んだことをもとに、多様性や曖昧性のある答えが一つではない課題に対応する力が求められます。友達との協働的な学びで多様な価値観に触れ、自分の考えを整理して筋道を立てて表現し、最適解を導き出す力が必要となります。

そのため、授業も改革が求められており、従前からの黒板を前に教師の説明中心の授業から、ICTなどを活用した個別最適な学びや対話を重視した協働的な学びを実現する授業づくりを推進していきます。

令和5年度からはコミュニティスクールがスタートし、家庭や地域と連携を図りながら小中一貫教育を進めてまいります。地域ぐるみで地域の子どもたちの健やかな成長に貢献していきたいと考えますので、よろしくお願いいたします。

北広島市立東部中学校長
堀田 裕之